

位置図



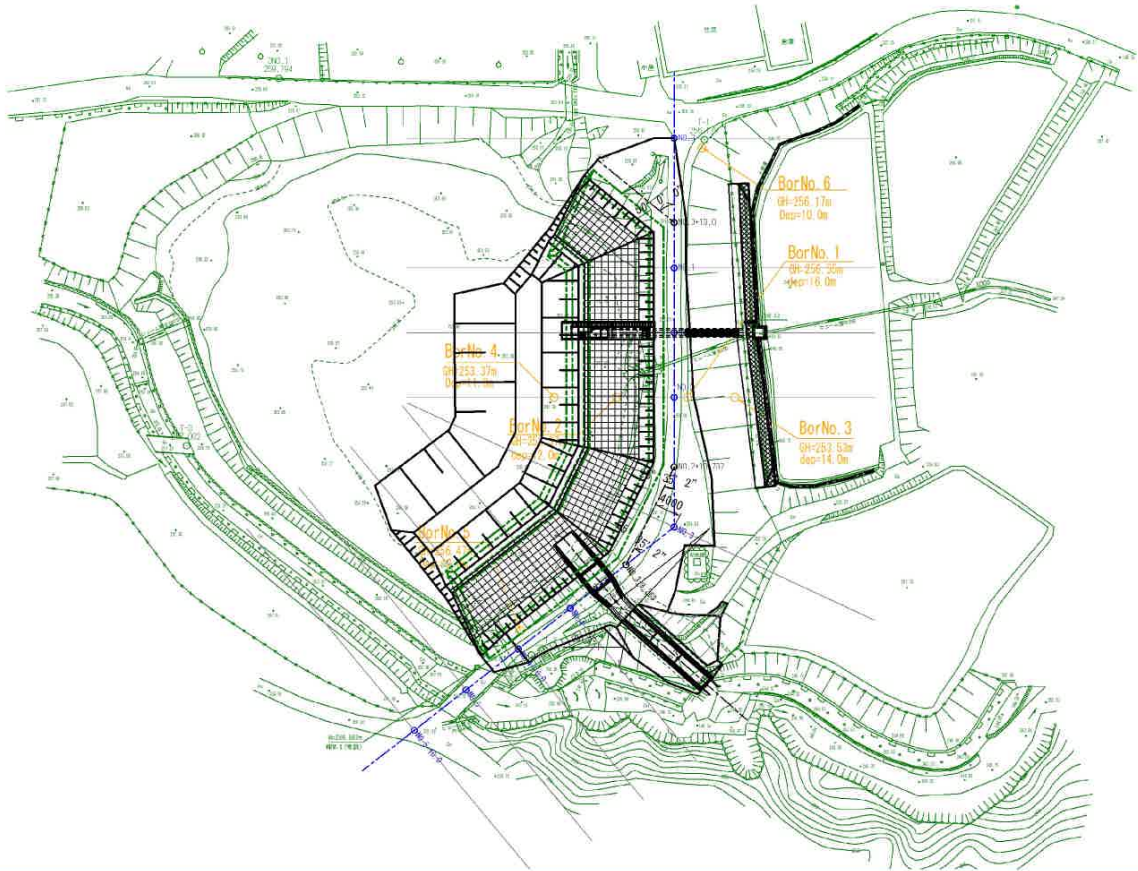
現地条件・課題(施工上の制約、設計のコントロールポイント等)

- ☐ ため池改修に伴い阻害あり⇒右岸側橋梁・頭首工
- ☐ 工事用道路の設置
- ☐ 施工ヤード・資材ストックヤードの確保
- ☐ 池内、泥土改良及び持ち出し
- ☐ 表土・泥土・不要土の土捨て場確保
- ☐ その他安全性、施工時の留意点など

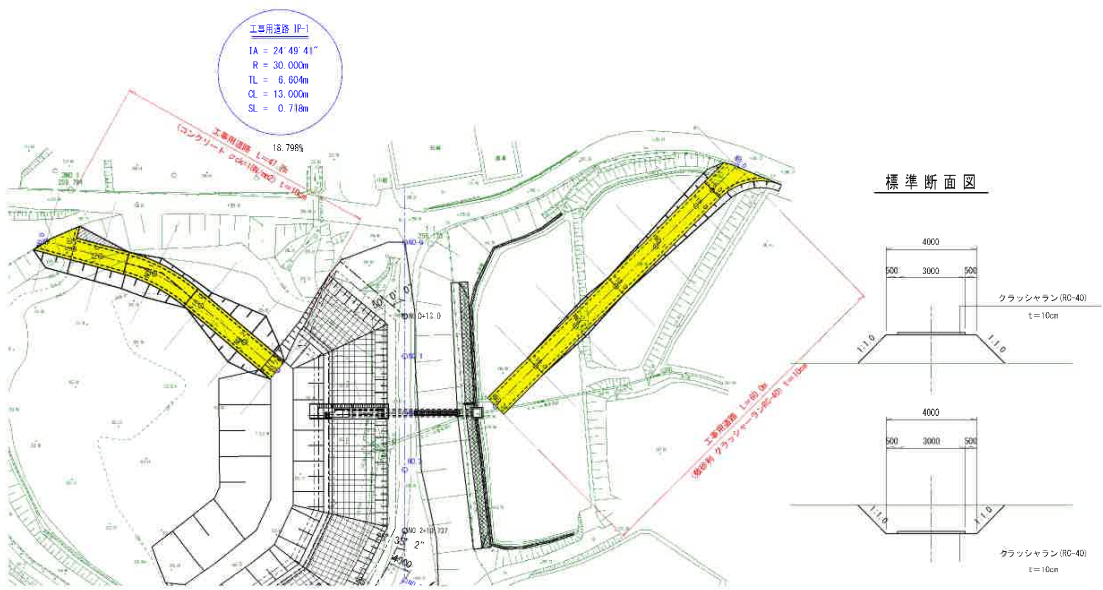
設計条件

- ☐ 事業区分:防災重点農業用ため池整備事業 米ノ山地区
- ☐ 常時満水位:FWL=254.10m 堤頂標高:256.30m 堤頂幅:3.60m(最低必要幅)
- ☐ 法面勾配:上流側⇒1:2.0 下流側⇒現況法面
- ☐ 洪水吐形式:正面越流型 洪水吐流入幅:3.10m 越流堰高:0.80m

平面図



仮設道路 (案)



現地踏査チェック項目

- ☐ 現地状況確認
 - ・ 土取場は、堤体右岸側の山を予定
 - ・ 土取場のストックヤードは予定していない。(仮置きを行うと、含水比などの条件が変化するため)
 - ・ 現況河川堤防は(右岸側)本業務において改修の予定はない。(現時点での漏水等はない)
- ☐ 施工業者要望
 - ・ 土取場付近より池内に侵入できる仮設道路が必要である。
 - ・ 池内の仮設道路については、施工開始後に泥土の状況を加味し考える。
 - ・ 右岸側の河川に仮間を設置し、上部を埋め立て仮設道路としては？
⇒河川管理者(県土木)の了承を得るのが困難である。
 - ・ 下流側の獣柵の撤去・設置の数量を計上する事。
 - ・ 池内の基盤からの漏水はないのか？
⇒ボーリング調査等の結果より漏水はないものと思われる。
- ☐ その他
 - ・ 池内の泥土撤去時は石灰を混合し持ち出しを行う(石灰の飛散に注意すること)
 - ・ 緊急放水路として、底樋下流桁より腰石積前に U-300水路を設置し、河川側に導く。
⇒河川と洪水吐の接続部付近に放流